

淀川水系東高瀬川洪水浸水想定区域図（浸水継続時間）

1 説明文

- (1) この図は、淀川水系東高瀬川について、水防法の規定に基づき浸水継続時間を表示した図面です。
- (2) この浸水継続時間は、公表時点の東高瀬川の河道の整備状況を勘案して、想定最大規模降雨に伴う洪水により東高瀬川が氾濫した場合の浸水の状況をシミュレーションにより予測したものです。
- (3) なお、このシミュレーションの実施にあたっては、支川の決壊による氾濫、シミュレーションの前提となる降雨を超える規模の降雨、高潮及び内水による氾濫等を考慮していませんので、この想定される浸水継続時間が実際の浸水継続時間と異なる場合や、浸水継続時間が明示されていない区域においても浸水が発生する場合があります。

2 基本事項等

- (1) 作成主体 国土交通省 近畿地方整備局 淀川河川事務所
- (2) 指定年月日 令和8年3月27日
- (3) 告示番号 国土交通省近畿地方整備局告示第38号
- (4) 指定の根拠法令 水防法（昭和24年法律第193号）第14条第3項
- (5) 対象となる河川
淀川水系東高瀬川
左岸：京都市伏見区竹田醍醐田町20番の2地先 から
淀川（宇治川）への合流点 まで
右岸：京都市伏見区竹田田中宮町15番の2地先 から
淀川（宇治川）への合流点 まで
- (6) 指定の前提となる降雨
東高瀬川流域の24時間の総雨量1,150mm
- (7) 関係市町村
京都市、八幡市、久御山町